

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 三次町地区 急傾斜地崩壊対策事業に伴う測量・地質調査・設計・用地調査業務委託(交付金)その2

事業・工事名

調査目的及び調査対象 その他 自然斜面

ボーリング名	BorNo. R5-6		調査位置	広島県三次市三次町 地内		北緯	34° 49' 27.8600"		
発注機関	広島県北部建設事務所			調査期間	令和5年 9月29日～ 令和5年10月10日			東経	132° 49' 05.5700"
調査業者名			主任技師			現代理人			
ア			コ			ア			
ボ			グ			ボ			
孔口標高	TP 188.66m		角			方			
総削孔長	9.00m		度			地盤勾配			
使用機種	試錐機 東邦地下工機 DO-C型		エンジン	ヤンマー NS-90EK型		ポンプ	東邦地下工機 BG-3C型		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記号	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試験採取		室内試験	削孔月日				
												深度 (m)	100mm毎の打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度 (m)	試験番号	採取方法						
	188.16	0.50	隙間粘土質砂			暗褐		rd3		崩壊土 ・基岩同質の岩層主体の崩壊堆積物 ・礫はφ50mm程度以下の基岩同質の細中礫、クサリシキ点在 ・基質は基岩風化帯を起源の粘土質砂	10/4 3.70														
	187.66	1.00	流紋岩			青灰				流紋岩質凝灰岩 (CM) ・基質は中硬質を示し、採取試料は短柱状を呈す		16	1.15	5	6	5	16								
	185.96	2.70	流紋岩			黄褐				流紋岩質凝灰岩 (破砕部: DM相当) ・破砕著しく採取試料は半固結の隙間粘土質を呈す		38	2.15	9	11	18	38						10/2		
	184.66	4.00	流紋岩			青灰				流紋岩質凝灰岩 (破砕部: DM相当) ・全体に破砕著しく採取試料は半固結の隙間粘土質を呈す		50	3.00	50		50	70						10/3		
	182.96	5.70	流紋岩			黄褐				・斜交する節理を認めるが良く密着 流紋岩質凝灰岩 (破砕部: DL相当) ・全体に破砕著しく採取試料は半固結の隙間粘土質を呈す		24	4.15	5	7	12	24						10/3		
	182.96	5.70	流紋岩			青灰				流紋岩質凝灰岩 (CL) ・基質はやや堅硬なるも亀甲様の節理及び破砕部を認める ・採取試料は硬質部で岩片-短柱状、破砕部では塊-岩片状を呈す ・節理面は暗褐色に変色し場所的に黄灰色の膠着物が挟在 ・GL-5.30-5.50m間、及び7.30-7.60m間、破砕著しく隙間粘土質を呈す		50	5.45			50	100								10/4
	179.66	9.00	流紋岩			青灰						50	6.05			50	100						10/5		
												50	6.15			50	100						10/5		
												50	7.00	貫入不能		50	0						10/5		